

学園創立 70 周年記念教育シンポジウム開催と教職卒業生ネットワークの立ち上げ

学園サポートセンター事務部長

多 畑 寿 城

学校法人行吉学園（神戸女子大学・神戸女子短期大学・神戸女子大学附属高倉台幼稚園）は平成 22 年 11 月に創立 70 周年を迎えた。その記念事業として、「教職卒業生ネットワーク」の立ち上げと「教育シンポジウム」を開催した。

本学園の教員養成の歴史は昭和 26 年 3 月 31 日に神戸女子短期大学 服装科に教職課程（家庭科）の設置が認定されたことに始まり、神戸女子大学においては昭和 42 年 3 月 31 日に家政学部家政学科に教職課程（家庭科）の設置が認定されたことによりその歴史は始まった。

これまでに数多くの教員を社会に送り出し、教育現場において確固たる実績と存在感を示してきたことが、「建学の精神」と「教育綱領」の本旨を全うする今日の神戸女子大学・神戸女子短期大学の堅実な姿を作り上げてきたと言っても過言ではない。

そこで 70 周年を機に教職分野で活躍して卒業生のネットワークを作り、これを「教職卒業生ネットワーク」とし、行吉学園（神戸女子大学、神戸女子短期大学、旧神戸女子大学瀬戸短期大学）卒業生の相互交流、教職に関する研修会（教員免許更新講習含む）、新任教員の方のサポート、教職情報の提供、教職志望の在学生との交流などの活動を展開していく予定である。

また当ネットワークの初めての事業として「学園創立 70 周年記念教育シンポジウム」を開催することも合わせて計画した。

「学園創立 70 周年記念教育シンポジウム」は本学園の 60 年余りの教員養成の伝統を引き継ぎ、さらなる発展を目指して、教職に就かれている卒業生の相互交流と教職を目指す学生や教員養成に携わる教職員との相互交流を推進するために、卒業生と教育委員会の方をシンポジストにお招きし、「教育の現状と課題－教育者としての夢と未来－」と題して平成 22 年 7 月 31 日に開催した。

理事長、学長の挨拶で開会し、卒業生の方からは、教員を目指したきっかけや、学生時代の様子、教員採用試験への取り組みや就職時のご苦労、日々の教育活動を通じての教員という職業の素晴らしさ、また、神戸女子大学の教職課程への組織的な取り組みに対する評価などの話があり、さらにシンポジウムに参加した学生の熱意を感じて逆に感動したといった発言もあり、教員を目指す在学生への熱い激励のメッセージが送られ、会場は感動に包まれた。

シンポジウム終了後は、学園直営の「バーカリーカフェ marberg」において交流会を行い、今井修平副学長の挨拶のあと、理事長や法人本部長も交え、和やかに歓談の和が広がった。

今後も教員を目指す学生たちへの、ネットワークを活用した取り組みを通じた支援も充実させていきたい。